



学校体育功労賞を受賞して

菊池市立泗水中学校長 岩下 昭彦

平成29年度全国学校体育研究功労賞受賞にあたり、感謝の言葉を申し述べます。

私が受賞できた背景には、様々な方々の支えや機会に恵まれたことが大きく影響していると感じています。その背景とは、

- ①常に目標とする先輩方がいらっしゃったこと。
- ②先輩方から事あるたびに評価（叱咤激励）していただいたこと。
- ③様々な大会・研究会に関わる機会を得たこと。
- ④同僚や後輩、そして家族に支えられたこと。

以上の4点を今、特に感じているところです。

若い時は、部活動指導を通して学ぶことがたくさんありました。「あんな指導ができる先生になりたいな」と思う先輩が自分の身の回りにはいらっしゃいました。その中のある先輩から言われたことは、今でも鮮明に覚えています。私が現役の競技者として陸上部の指導に当たっていたころ、「遅い生徒の様子は観えているのか？いつになったら生徒一人ひとりに一生懸命になるんだ」という指導が印象的でした。

ある先輩は、私が担当学級、担当部活動だけに力を注いでいた頃「先生のやり方は、自分勝手に良くないと思う。周りのことをもっと配慮しないといけないね」という指導は、自覚が乏しい私にとって強烈な言葉になりました。

熊本県中学校体育連盟の副理事長時代には、何度となく叱られ、自分で「自覚のない理事長だな」と納得していた時期もありました。

熊本県中学校体育研究会のチーフ時代は、「10年後を見通した指導計画例になっとなんね。やり直ししてください」等々、今は本当にありがたい指導や言葉をいただいたと痛感しています。当時は、「なにくそ」という気持ちがありましたが、今は自分を育てていただいた事に感謝です。

また、機会にも恵まれていました。県下で初めて選択制授業を提案した熊本県保健体育研究発表菊池大会。翌年は、選択制授業の指導計画例を作成（県下の体育教師全員で作成）するにあたり、そのまとめ役ができたこと。本年度は、全国中学校体育大会陸上競技大会とサッカー競技大会が熊本で開催されましたが、サッカー競技を菊池郡市で運営できたことは一生の宝物になりました。

そして、今、一番ありがたいと感じているのが、支えてくれる先輩・後輩（中体連関係者、同僚）の存在です。研究会・大会等の成功裏は、全て中心となって運営に携わった方々、関係者の功績であり、私がその場に居れたことを今後の誇りとして生きます。

結びになりますが、育てていただいた諸先輩方、支えていただいた同僚・後輩諸氏に対しまして重ねて感謝申し上げますとともに、熊本県中学校体育連盟、体育研究会のますますの発展に様々な角度から支援して参りますことをお約束し、お礼の言葉とさせていただきます。